

笠間市・サントリーグループ 「ボトルtoボトル」水平リサイクル事業に関する協定締結のお知らせ ～ 東日本で最初のスタート(2月から施行) ～

笠間市では、プラスチックごみの削減を通じて脱炭素社会の実現と循環型社会の形成を推進することを目的に、サントリーグループと協定を締結いたします。

つきましては、下記のとおり締結式を実施しますので、ぜひ取材いただきますようお願い申し上げます。

【協定締結式】

日時 1月19日(水) 午前11時から

場所 笠間市役所本所 2階 2-6会議室 (笠間市中央三丁目2番1号)

1. 協定締結の目的

本協定の締結により、笠間市が収集したペットボトルと同量が「**ボトルtoボトル(※)**」としてリサイクルされ、サントリー製飲料の容器として再度流通することになります。

ペットボトルの再生先が「見える化」されることにより、市民のリサイクル意識の向上、プラスチックごみの削減、水平リサイクルによるCO₂排出量の削減が期待されます。

(※)「ボトルto ボトル」

ペットボトルからペットボトルを再生すること。繊維やプラスチックレイにリサイクルする場合に比べ、資源を繰り返し利用できるほか、原料からペットボトルを作るのと比べてCO₂の排出量を削減できるなどのメリットがある。

2. 本協定の特徴

☆東日本で最初のスタート

→本協定は令和4年2月1日からの開始を予定しており、**東日本で協定を結んだ市町村の中で最初のスタート**となります。(他市町村で締結した協定は、いずれも令和4年4月以降の開始となります。)

☆環境に配慮した協定

→笠間市で収集したペットボトルは、市内に拠点を置く「**ジャパンテック(株)東日本PETボトルMRセンター**」で再生されるため、短い距離で効率的な運搬が可能となり、自動車排気ガス(CO₂・NOx)を抑制できます。

→また、同社の技術により、圧縮の可否にかかわらず、ボトルtoボトルの対象としての受入れが可能となったため、市が収集する全てのペットボトルの再生循環が実現しました。

☆市民の協力

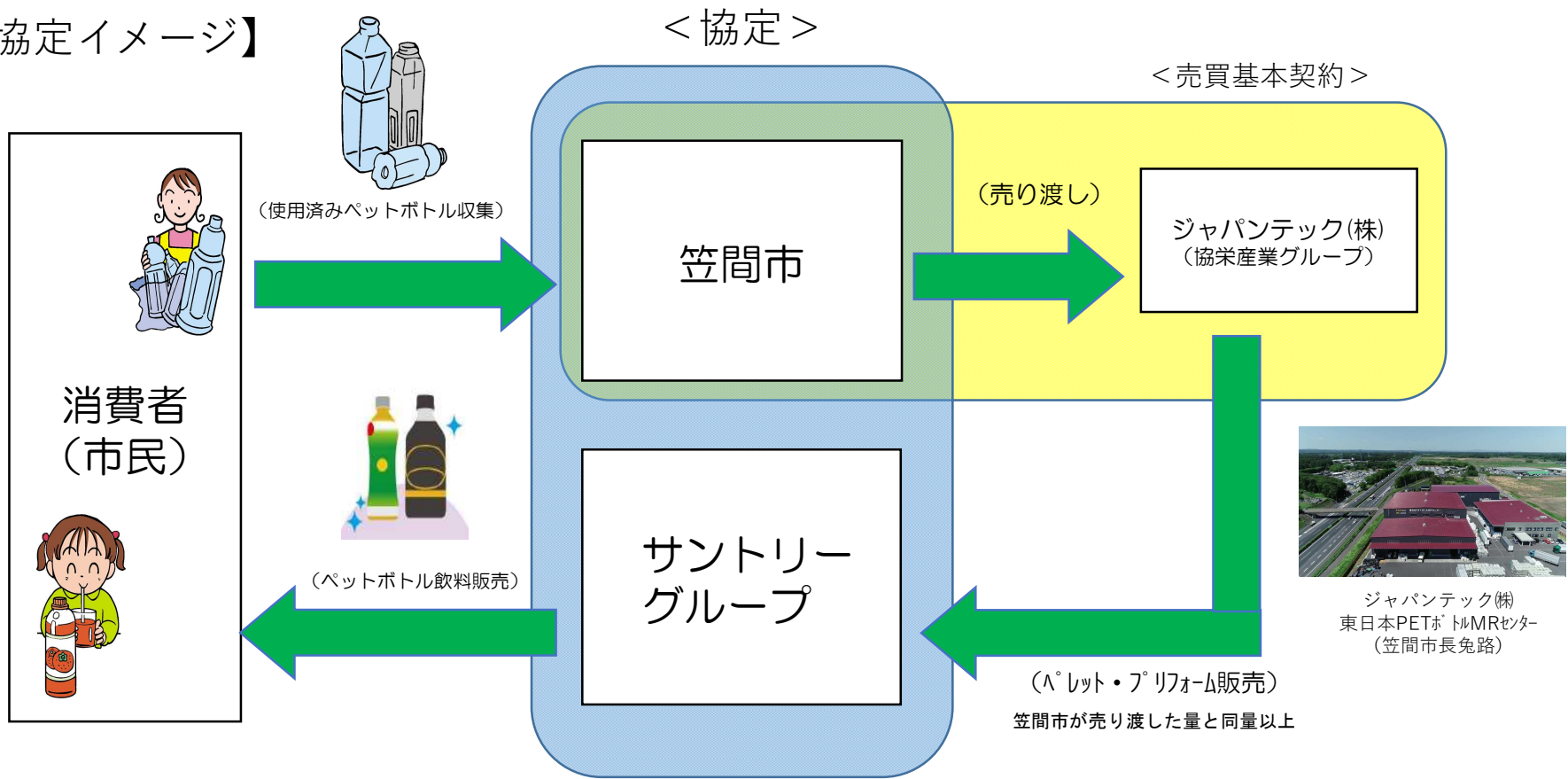
→笠間市の一般家庭から排出されるペットボトルは、汚れや異物が少なく、高い再生率を誇ります。市民のリサイクルに対する意識が高いことに加え、排出の際に使用する資源物コンテナを各家庭が管理している方法が要因と考えられます。

(お問い合わせ・取材申し込み)

笠間市役所 市民生活部 環境保全課 担当:飯島

電話番号:0296-77-1101 ファックス番号:0296-77-1146 e-mail:kankyo@city.kasama.lg.jp

【協定イメージ】



【今後のスケジュール】

- 令和4年1月19日 …協定締結
- 令和4年2月1日 …協定に基づき水平リサイクル開始 (東日本初)



ペレット



プリフォーム